

グリーンソサエティ

| | |
|-------|----------------------------|
| 代表者 | 三ツ村 貞範 |
| 所在地 | 〒643-0002 和歌山県有田郡湯浅町青木 227 |
| 設立年月日 | 平成3年10月 |
| URL | http://green.lepo.fool.jp/ |

【設立趣旨】

グリーンソサエティは、湯浅町内外のボランティアの集まりで自主的な参加活動を元に、環境・文化・教育・産業を育成することを目的として平成3年（1991）10月に設立し、平成21年9月現在35名の会員が活動しています。環境活動や古き良き町並みの維持を通じて、子どもからお年寄りまで喜んでいただけるまちづくりに取り組んでいます。

【沿革】

当初、湯浅町青木地区の住み良い美しい環境づくりを目指し、定期的に整備・清掃に取り組むなか、花を植える活動、ホタルの飼育、町並みの維持など多くの方の協力をいただきながら、活動の幅をひろげてまいりました。現在も継続活動中の青木・山田地区での環境美化活動、平成9年からはホタルの研究飼育をはじめ、平成12年から毎年「ほたるの園」として公開し、多くの方々に来園いただいています。

同じく平成12年から町並み整備活動をはじめ、醤油発祥の地として栄え、当時の面影を今にとどめる湯浅町の町並みの軒下に古道具・古民具をせいろ（昔の蒸し器）の中に入れ「せいろミュージアム」として展示をし、辻行灯も設置しています。平成18年12月に湯浅町が和歌山県で初めて、全国で79番目の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれ、これを期に翌年の平成19年4月に伝建地区を会場に「ゆあさ行灯アート展」を開催。以降毎年開催し全国から多くの作品が集い、多くの来場者にあたかな行灯のあかりをお楽しみいただいています。

本年平成21年2月には文化庁・NPOによる文化財建造物活用モデル事業として伝建地区内の栖原家の一部をお借りし、おもちゃの展示や遊べる体験空間として「湯浅おもちゃ博物館」を開館。続いて6月には工作体験教室などの場として同じく栖原家の醸造蔵跡地に「醬の庭」を開園し、8月夏休みに「工作あそび会」を実施しました。

【活動目的】

■環境美化・自然共生活動（青木・山田地区）：

会の設立以来継続して活動している青木・山田地区。地元地区の皆様、関係先の皆様にご協力いただき続けている活動の中で、自然共生を学び・繋ぎ・伝えるホタルの飼育活動では、毎年開催の「ほたるの園」で地元の小学生をはじめ、多くの方々にホタルの生育環境の整備や飼育・観賞を通じて、共生の大切さを一緒に感じていただいているよう心掛けています。



「ほたるの園・観賞会」会場風景・ホタル乱舞

■町おこし町並み保存活動（重伝建地区）：

醤油発祥の地であり、熊野古道が唯一市街地を通る湯浅町。鎌倉時代に中国から伝来した金山寺味噌の製造過程から生まれた醤油の醸造。江戸時代後期には100軒にもものぼる醤油屋があったといわれています。平成18年12月に醤油醸造の町として重要伝統的建造物群保存地区に選ばれた地区は今も醤油醸造家や金山寺味噌、醸造用麹などの製産商家が営業をし、近世から近代にかけての町並みが良く残されています。

平成12年にはじめた「せいろミュージアム」の維持管理、平成19年に立ち上げた語り部事業、平成19年以来恒例となった伝統的町並みに溶け込む「ゆあさ行灯アート展」、本年2月開館の「湯浅おもちゃ博物館」の運営と「醬の庭」を利用した工作体験会の実施など、伝建地区を中心とした様々な取り組みで、この街に住む人々の集い、この地を訪れる方々との交流、伝統を伝え繋いでいく物を大切に作る心、また自由に発想



「ゆあさ行灯アート展」会場風景



「湯浅おもちゃ博物館」外観



「ゆあさ行灯アート展」第三回(09)一般の部・最優秀賞



「湯浅おもちゃ博物館」館内風景1



湯浅おもちゃ博物館」館内風景2

しあそびを創造する心が生まれ育つことを思い、古代より熊野詣の宿場町として栄え今も醤油醸造の町として息づく湯浅町で、今後も様々な交流活動を続けていきます。

【活動内容と活動経歴 08.8-09.8】

- (1) ホタルの飼育とほたるの園管理・運営
- (2) ゆあさ行灯アート展&写真コンテスト企画・運営
- (3) 湯浅おもちゃ博物館運営・管理
- (4) 醬の庭管理・運営と工作体験会の実施
- (5) 麴アイスの販売
- (6) 環境活動・花壇の管理
- (7) 町並み整備・せいろミュージアム



「醬の庭・工作あそび会」

- 20年8月 行灯アート展が「デザイン物産展ニッポン」（東京銀座松屋にて）に県代表に選ばれて出席。
- 20年9月 「湯浅おもちゃ博物館」文化庁、平成20年度NPOによる文化財建造物活用モデル事業に採択される。
- 21年2月 文化庁委託事業として「湯浅おもちゃ博物館」を開館（21年2月17日）
- 21年4月 第3回行灯アート展開催（4月15日～4月19日）今年は全国各地から素晴らしい作品（300点）が出品され年々技術の高さと出品範囲が広がる。今年は全国の湯浅姓の皆さんが300人余り来られ、この行灯展を楽しみ地元の方々との交流を持たれた。
- 21年5月 ホタル鑑賞会5/23～6/5、京阪神を始め多くのお客様でにぎわう。
- 21年6月 重伝建地区「醬の庭」にてピオトップ会場を造り幼稚園児を招いてメダカ、小動物の鑑賞会・水車の通水式を行う。（6/25）
- 21年6月 今年も山田小学校の行灯づくり体験学習を6月中に2回開く、完成は秋に行う予定。
- 21年7月 醬の庭植樹、草引き整備。
- 21年7月 湯浅山田川沿いの花壇、国民宿舎湯浅城周辺の花壇の整理。
- 21年7月 20日 和歌山市の少年野球チーム35人が参加し、北の町憩いの家で行灯づくり体験教室を開く。
- 21年7月 23日 YMCA 和歌山校小学部行灯作り体験学習に出張講習。（30名が参加）
- 21年7月 おもちゃ博物館の陳列と遊びの体験を取り入れるための会場の見直し作業を行う。
- 21年8月 1日 日高川町太陽川辺作業所の24名が参加し、北の町憩いの家で行灯づくり体験教室を開く。
- 21年8月 23日 湯浅おもちゃ博物館夏休み企画「工作あそび会 in 醬の庭」開催。松葉相撲・ゴム戦車作りなど4種類の工作に63名が参加。

【活動上の課題と今後の展望】

設立以来活動項目が増える中、会員相互の協力と共通認識を持って、会としては良い環境にありますが、今後はこの活動に幅広い年齢層からの参加を呼び掛け、繋ぎ広げていくことを重点とすることで点から面へと活動拠点が広がったように会としての充実が課題です。また湯浅町の町おこし・産業振興面では従来から行政はじめ関係先に協力いただきながら運営しておりますが、町・商工会・観光協会、近隣市町と一層の協力体制を組み、県内からそして近畿圏からと少しずつお越しいただける方々のエリアを広げていくことが必要です。